

～野外活動～

バーベキュー

福岡市海の中道青少年海の家
2025年3月17日改訂

1.活動概要

自然の中で、バーベキューをします。

2.めあて

【人とのつながり】

○(親睦・交流)

・コンロを囲み仲間と食事をする事で交流(親睦)を深める。

【自分を高める】

○(アウトドアスキル)

・炭に火をつけることができる。



写真は4人前

※内容は、変わる場合がございます

3.準備

【1】準備物

海の家 : バーベキューコンロ(4~8人用)、火ばさみ、うちわ、片付けセット、食器(箸・皿・コップ)、チャッカマン、炭

団体 :

救急用品、新聞紙(班に1日分)、軍手(綿100%のもの)、ふきん(班に2枚)、台拭き(班に2枚)、雑巾(1コンロに2枚)、帽子、水とう、タオル、レインウェア、網(約450mm×300mm)※使用するコンロ数分

【2】引率者の役割

- 安全管理
- 道具などの管理
- 活動のサポート
- 片付けの指導

【3】班編成

4~8人程度

※事前に班分けしておく。

4.実施上の留意点

- 調理用食材、アルコール飲料の持ち込みは厳禁。
- 火を扱う際は、必ず軍手を着用させる。
- 特に夏季は、熱中症に注意する。
- 食材を受け取る際は、必ず引率者が立ち会うこと。
- 食物アレルギー該当者の情報は、引率者間で共有し、対応すること。
- 網は団体で準備をし、使用後は持ち帰る。
※海の家で処分する場合は、有料。
- 活動時間の条件

	開始時間	終了時間
A活動(午前)	遅くとも10時まで	13時 ※点検含む
B活動(午後)	遅くとも15時まで	18時 ※点検含む

※C活動(夜)は不可。

※日帰りを実施する場合は、9時30分までに入所すること。

- 4調理場以上で実施する場合は、有料インストラクターの料金が発生する。

※1調理場、最大5コンロ

5.活動のながれ

◎…引率者の動き ○…研修生の動き ▼…施設職員の動き

※下表では、炭の準備から着火することまでを「火起こし」としている。

目安時間	活動内容	留意点
全体説明 (5分)	▼活動について説明する。 ◇活動のながれ ①食堂裏へ、バーベキューセットⅠを受け取りに行く。 ②調理場で火起こしをする。 ③全てのコンロの炭に火がついたら、食堂裏にバーベキューセットⅡを受け取りに行く。 ○話を聞く。	◇バーベキューセットⅠ 炭、トング、食器(箸・皿・コップ)、チャッカマン、塩こしょう ◇バーベキューセットⅡ 食材、ごはん、焼き肉のたれ
移動 (15分)	▼食堂裏へ引率する。 ◎○食堂裏へ、バーベキューセットⅠを受け取りに行く。 ▼調理場へ引率する。 ◎○移動する。	
道具の配付 (10分)	▼道具を配付する。 ○道具を受け取る。	◇道具 コンロ、火ばさみ、うちわ
活動 (120分)	▼コンロの組み立て方と火起こしについて説明する。 ◎○コンロを組み立て、火起こしをする。 ◎○食堂裏へ、バーベキューセットⅡを受け取りに行く。 ◎安全管理をする。 ◎○食事をする。	●必ず軍手を着用させる。 ●全てのコンロの炭に火がついた状態になってから。 ●食堂裏へ行っている間、火の番をしておく。 ●施設職員と点検時間を打ち合わせる。 ※点検時間の目安は、食べ始めから1時間30分後。
片付け (30分)	◎片付けをさせる。 ○片付けをする。	●予備点検を行っておくと点検がスムーズに進む。
点検 (15分)	▼点検を行う。 ○班で揃って点検を受ける。※必要に応じてやり直し。	●道具が揃っているか確認する。
道具の回収 (10分)	◎▼引率し、道具を返却させる。 ○移動し、道具を返却する。	●施設の貸出物品がある場合は、数を確認する。
まとめ (5分)	◎まとめを行う。 ○話を聞く。	●まとめの実施については、団体に任せる。

- | | |
|------------|--------------------------|
| a. 対象学年 | : 小学生以上 ※未就学児は要相談 |
| b. 定員 | : なし |
| c. 関連教科 | : 家庭科、道徳科 |
| d. 実施可能時期 | : 通年(A・B 活動) |
| e. 実施可能な天候 | : 荒天時以外 |
| f. 所要時間 | : 3時間30分程度(説明から片付けまでを含む) |
| g. 実施場所 | : 野外調理場(空・風・星・島・海) |